

日本福祉教育・ボランティア学習学会 学会ニュース

Japan Academic Association of Socio-education and Service Learning

No.61

2016年11月1日
発行

発行人：松岡 廣路 編集委員：長沼 豊 菱沼 幹男 熊谷 紀良
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3 番 27 号 口リ工市ヶ谷 3 階
TEL.03-5227-7101 FAX.03-5227-7102 Eメール jimukyoku@jaass.jp

第 22 回みやざき大会を都城市で開催 大会テーマ「子どもの育ちから考える 福祉教育・ボランティア学習の力」

大会実行委員長 島津久友（都城市社会福祉協議会）



日本福祉教育・ボランティア学習学会第 22 回みやざき大会を 11 月 25 日～27 日に、都城市において開催いたします。本学会で初めて中学校を会場にしての開催となり、多くのご参加をいただきますようお願い申し上げます。

開催要項でご案内しましたように、第 22 回みやざき大会は「子どもの育ちから考える福祉教育・ボランティア学習の力～はぐくむ、ささえあう、ともに生ききる～」を大会テーマにしました。「子どもの育ち」に焦点化して、「いのちを大切にし、育み、支えあい、たとえ厳しい社会であったとしても、それを多くの人たちと乗り越えて状況を変えていく」そんな「ともに生ききる力」を育んでいきたいという思いが込められています。そのことは子どもに対してどう関わるかという視点だけではなく、子どもたちを育む地域社会をどうつくり、私たち大人が、あるいは実践者がどう共に生ききるかという問いかけでもあります。

3 日間にわたる今大会のオープニングとして、ホスト校である都城市立中郷中学校の公開授業及びパネルディスカッションを行います。同校は創立 70 周年記念行事の一環として、道徳、福祉教育、コミュニティ・スクール、耕心学の授業研究会を行っており、研究成果の報告と課題提起を行うものです。中学校を会場にすることにより、福祉教育に関する授業を参観するという、本学会が目指す姿の一端を実現できると考えております。宮崎県では、福祉教育の推進に力をいれ、地域福祉を進めてきており、都城市でも学校教育と連携して地域ぐるみの福祉教育・ボランティア学習を先駆的に進めてきました。そうした積み重ねを全国に発信し、研究協議していただくことを目指しております。

開催地となる都城市は、宮崎県の南西部、鹿児島県との県境に位置する都市で、盆地の特性を活かした農業や畜産が盛んな地域で、島津発祥の地でもあります。晩秋の「都城盆地」で冬の訪れを感じながら、これからの福祉教育・ボランティア学習のあり方を考えてみませんか。そして、地鶏、都城牛、焼酎と美味しい食べ物、飲み物なども楽しんでください。皆さんのお越しを心よりお待ちしております。